



平成30年4月17日

各 位

会社名 アイホン株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 周作
(コード番号 6718 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役経営企画室副室長 和田 健
(TEL 052-228-8181)

通期業績予想および中期経営計画の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年5月8日に公表いたしました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の業績予想、および平成28年6月28日に公表いたしました平成29年3月期から平成31年3月期までの第6次中期経営計画を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期の業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 46,000	百万円 3,300	百万円 3,300	百万円 2,200	円 銭 134.87
今回修正予想(B)	45,100	2,800	2,850	1,550	95.03
増減額(B-A)	△900	△500	△450	△650	
増減率(%)	△2.0	△15.2	△13.6	△29.5	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	43,854	2,775	2,790	2,073	127.10

(2) 修正の理由

売上高につきましては、国内の住宅市場及びケア市場共に新築での売上が伸び悩むとともに、海外市場の売上につきましても欧州での他社との競争が厳しさを増したことから前回発表予想を下回る結果となるものの、過去最高の売上高になる見通しです。

利益につきましては、売上高が前回発表予想を下回る結果となる見通しであることに加え、研究開発費等の経費が増加したことにより営業利益、経常利益は前回発表予想を下回る結果となる見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記(3)に記載の通り特別損失を計上することにより減少する見通しです。

(3) 特別損失の計上について

当社は、平成 29 年 7 月 28 日に SkyBell Technologies, Inc. (以下、「SkyBell 社」といいます。)と資本業務提携を締結しております。しかしながら、直近の SkyBell 社の事業進捗状況を踏まえ、同社が立案した事業計画は大きく遅延する可能性が高いとの判断に至りました。その結果、当社が出資した株式の実質価額が著しく低下することになったため、減損処理を行い、606 百万円の投資有価証券評価損を計上いたします。

2. 中期経営計画の修正について

平成 30 年 3 月期につきましては、業績計画の達成に向けて様々な取り組みを実施してまいりましたが、経営環境の変化等から前項に記載の業績となる見通しです。

こうした状況を踏まえ、平成 31 年 3 月期におきましては 3 年目を迎える第 6 次中期経営計画の見直しを行い、業績計画を下記の通り修正することといたしました。

(単位：百万円)

区分	平成 29 年 3 月期〔実績〕	平成 30 年 3 月期〔予想〕	平成 31 年 3 月期〔計画〕
売上高	43,854 (43,800)	45,100 (46,400)	47,500 (50,000)
営業利益	2,775 (2,550)	2,800 (3,290)	3,000 (5,000)

※カッコ内は当初計画

(注)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上